



3月のミッドウィンター@江ノ島。充実した2日間で笑顔満開 🌸

CONTENTS

カウントダウン	1
2016 年度総括と 2017 年度予定	2
ワールド準備状況 その 3 (2017 年 3 月現在)	3
蒲郡ワールド準備における課題について	6
「海と人とのふれあい交流事業@蒲郡」について	7
ルール講習会報告	8
ミッドウィンターレガッタ特集 (講習会&レースレポート)	10
フリート紹介 / 便り	16
稲森さんを偲んで	20
Tasar of the Year (TOY) 2016	22
【別添】ミッドウィンター講習会資料、レース公示	(別添)

カウントダウン

会長 田中 郁也

蒲郡ワールドまで 4 か月を切りました。すでにワールドに向けたトレーニングに入っているチームもあると思います。5 日間で 12 レース、1 日最大 3 レースが予定され、1 レースのターゲットタイムは 60 分を見込んでいます。天候が順調であれば、南よりのシーブリーズで、三河湾特有のチョッピーな波でのレースになるでしょう。セーリング技術の面からは、この波への対処がポイントになると思います。また、各レースのレグはかなり長い距離になりますので、走り切るための体力づくりが必要です。7 月 8 日からの海陽 YH への艇持ち込みの仕組みを活用して、現地で乗り込むことが何よりのトレーニングになると思います。

参加艇は 80~100 艇が見込まれます。一斉スタートとなりますので、スタート前、スタート時、第 1 マーク付近などは相当混雑するでしょう。艇のコントロールを失うような致命的なトラブルは、事故等につながる可能性があります。ステー等の損傷によるマストの転倒、ハリヤードのトラブルによるセールダウン、ピントルやガジョン、ダウンシートの損傷によるラダートラブルなどが考えられますが、入念な点検と艇の整備を行い、“日本艇はノートラブル”を目指して本番に臨みたいと思います。また、今年は 4 年に一度のセーリング競技規則 (RRS) 改訂の年にあたります。2017-2020 の R R S、特に第 1 章と第 2 章を今一度確認しましょう。スタート前~スタート時の上側、下側の艇との関係、ゾーン内のタック、マーク廻航時のオーバーラップとルーム、ペナルティの履行などは具体的な場面を想定して、シミュレーションをしておきたいと思います。

昨年末まで行った宿泊申し込みには、国内外から約 120 名の方から申込がありました。宿の手配がまだのチームもおられると思います。夏休みの期間と重なるため宿が大変混雑し、特に週末に部屋の確保が難しくなります。協会としての宿の申し込みは締め切っていますが、各自で早めの手配をされるようお願いいたします。なお、蒲郡クラシックホテルは、ホテルへの直接申し込みが現在も可能となっています。

蒲郡ワールドの準備もカウントダウンという状況になってきました。蒲郡ワールドの準備状況については、第 3 報が掲載されていますので、是非お読みいただきたいと思います。準備は概ね順調に進んでいますが、課題もあります。テザーセーラー各位のご理解とご協力を頂きたいと思っており、別稿にてご説明させていただきます。

さあ、準備を整え、蒲郡ワールドにのぞみましょう！

2016 年度総括と 2017 年度予定

2016 年は、プレワールドと全日本選手権という 2 つの大きな大会を実施しました。プレワールドは 2017 年ワールド開催場所である蒲郡にて、海外から 4 艇を含め 35 艇が集まりました。蒲郡特有の海面のチェックや、温泉宿を含めた周囲の環境の確認など、各々ワールドへ向けて収穫があったことと推察します。全日本選手権は、2008 年にワールドを行った和歌山にて、風に恵まれたレースを満喫するとともに、パーティーでは和歌山セーリングクラブの方で BBQ をご用意頂き、海も陸も充実したテザーらしい大会となりました。

2017 年はいよいよ蒲郡ワールドの年です。アーリーサマーレガッタを加え、ワールド前に 3 つの大会を計画する一方、秋には全日本選手権を予定しております。まずは 4 月 29～30 日のスプリングレガッタから。皆様のご参加をお待ちしております。（イベント担当理事：米本 隆）

協会公式イベント

2016 年度下期（9 月～3 月）は、下記の公式イベントを実施しました。

JTA 公式レース

- ・ オータムレガッタ （稲毛 / 2016 年 9 月 25 日 / 参加 13 艇） 優勝 軽部 / 軽部組
- ・ 全日本選手権 （和歌山 / 2016 年 10 月 8～10 日 / 参加 25 艇） 優勝 高橋 / 杉浦組
- ・ ミッドウィンターレガッタ （江ノ島 / 2017 年 3 月 12 日 / 参加 25 艇） 優勝 田中 / 田中組

練習会

- ・ 第 2 回練習会 （稲毛 / 2016 年 9 月 24 日）
- ・ 講習会 & 第 3 回練習会 （江ノ島 / 2017 年 3 月 11 日）

2017 年度スケジュール

日 程	イベント名	場 所	備 考
4/29(土)～4/30(日)	スプリングレガッタ ★	葉山	
5/28(日)	アーリーミッドサマー	江ノ島	27 日(土)練習会開催
7/9(日)	西日本選手権 ★	芦屋	8 日(土)練習会開催
7/30(日)～8/6(日)	世界選手権蒲郡大会 ★	蒲郡	
8/26(土)～27(日)	ミッドサマーレガッタ	猪苗代湖	
10 月あるいは 11 月 (未定)	全日本選手権 ★	調整中	
調整中	ミッドウィンターレガッタ ★	稲毛	2018 年 1 月または 2 月

★：Tasar Sailor of the Year の算定対象レガッタです

2017年蒲郡ワールド開催（2017年7月30日～8月6日）まであと4か月、前回報告からの進捗を報告します。公式情報はワールド準備委員会（広報G）が運営する大会ウェブサイトに掲載しています。

<http://tasarworlds2017.org/>

1. オンラインエントリー

1月末よりオンラインエントリーを開始し、3/31現在で17艇（日本7艇、オーストラリア10艇）がエントリーしています。

<http://tasarworlds2017.org/entry/online-entry>

アーリーエントリー期間は5月末までで、それ以降はレイトエントリーとなり、エントリーフィーも変わりますので、既に参加を決めていらっしゃる方は、早めのエントリーをおすすめします！



TASAR WORLD CHAMPIONSHIP 2017
GAMAGORI

2. 大会役員

大会役員が決定し、ワールドウェブサイトに掲載しました。

<http://tasarworlds2017.org/outline>

Race Officer	: Akira Okada (IRO/JPN)
International Jury	: Noel Allen / Chair (IJ / AUS)
	Ross Chisholm (NJ, IRO / AUS)
	Leonard Chin (IJ / MAS)
	Katsuya Hashiba (IJ / JPN)
	Hiroyuki Furukawa (NJ / JPN)
Technical Committee	: Kazuyuki Higashijima (IM/JPN)

3. レース運営

本大会では、調停制度の導入を前提に準備を進めています。多くのセーラーの皆様は調停制度について未経験だと思いますが、不安なく大会に挑めるように情報提供をしていく予定です。

なお、調整制度に関しましては2017-2020版のルールブックの付則Tに詳細が記載されていますので、お手元にルールブックがある方は、ぜひご覧ください。

4. ワールド参加検討のための各種情報

○海陽ヨットハーバーの艇置き・・・前回報告より艇置き期間に関して一部修正

大会期間中のハーバー使用料（艇置き料950円/日、水道代150円/日）は主催者が負担します。ワールド参加艇のハーバー使用は1か月間で手続きする予定です。艇置き期間は①7/8（土）～8/7（月）、②7/15（土）～8/14（月）、③7/22（土）～8/21（月）から選択できるようにする予定です。このため、エントリー済みの方は大会が始まる前から無料で艇置きできます！

ただし、大会期間中（7/30～8/6）以外の出艇では水道代150円/日・艇が必要となります。

○宿泊

既に蒲郡祭の期間となる7/29（土）、30（日）の予約が取りづらくなっています。参加を決めている方だけでなく、迷っている方、ご家族の分なども、宿だけは早めに確保しておくことを強くお勧めします。

三谷温泉旅館

- | | | |
|---------|---|---|
| ・松風園 | http://www.shofuen.jp/ | e-mail : info@shofuen.jp |
| ・明山荘 | http://www.meizanso.com/ | e-mail : info@meizanso.com |
| ・ひがきホテル | http://www.higakihotel.com/ | e-mail : yoyaku@higakihotel.com |
| ・平野屋 | http://www.hotel-hiranoya.co.jp/ | e-mail : info@hotel-hiranoya.co.jp |
| ・三河海陽閣 | http://www.kaiyoukaku.com/ | e-mail : info@kaiyoukaku.com |

ペンション

- ・オレンジペンション 蒲郡市大塚町星越 52-8 電話 : 0533-59-7956
e-mail : orangepe@lilac.ocn.ne.jp

ホテル

- ・ホテル AZ <http://www.az-hotel.com/gamagori/>
・蒲郡ホテル <http://www.gamagori.co.jp/index.html> e-mail : info@gamagori.co.jp
・蒲郡クラシックホテル <http://www.classic-hotel.jp/> e-mail : front@gamagorich.com

○ソーシャルイベント

大会期間中は以下のソーシャルイベントを予定しています。エントリー料には選手 2 名分のパーティー参加費が含まれていますが、3 人目以降のクルーの方や、ご家族やお連れの方も追加料金をお支払いいただくことで参加できます。エクスカーションは別費用となります。

1) パーティー

- ① Welcome party : 7/31、18:30～開始予定。会場は「地中海レストラン・バル casa（カーザ）」
- ② 宴会（The Enkai）: 8/3、18:30～開始予定。会場は「ホテル明山荘」
- ③ Closing Ceremony/表彰式 : 8/6、19:00 開始予定。会場は「蒲郡クラシックホテル」

2) デイリープレゼンテーション

その日のレースの「一番」を表彰します。

8/1、8/2、8/5 は、レース終了後、海陽ヨットハーバー内にて実施予定です。

3) エクスカーション

8/4 のレイデーに、バスツアーを検討しています。ツアー内容や費用、申込方法については、決定次第大会ホームページでご案内いたします。

5. 海外からの参加見込み

オーストラリアは各リージョンから 5 コンテナ（40ft×4+20ft×1）での来日が計画されています。

アメリカは 4 チーム前後での参加を検討していると連絡を受けています。

イギリス・ニュージーランド・オランダからもチャーター艇で参加したいと問い合わせを受けており、各国チームに参加いただけるよう準備をしています。

本大会の海外チームの参加は 40～50 チームになるものと見込んでいます。

6. 大会協賛企業と補助金活用

○大会協賛企業

2017 年 3 月現在で大会協賛していただける企業は、下記となっております。

- ・東洋工業株式会社様
- ・パフォーマンスセイルクラフトジャパン株式会社（MUSTO）様
- ・三谷温泉組合様
- ・株式会社パルレーナ様

○補助金活用

本大会は補助金を活用することで、エントリー費を抑えつつ大会を盛り上げていく予定です。

- ・日本財団「海と日本プロジェクト」…JSAF・蒲郡市・蒲郡教育委員会と共同申請し、採択が決定しました。詳細は別コラムでご紹介します。
- ・その他の補助金制度にも申請中。

7. 各種募集

○大会協賛の募集

ワールド準備委員会（協賛 G）は、大会協賛していただける企業・個人を引き続き募集しています！説明資料などを完備していますので、心当たりのある方は下記までご連絡ください。

japanworld@tasarjapan.org 担当：野口、石原、櫻井

○チャーター艇募集

ワールド準備委員会（チャーターG）は、コンテナが出せない国から参加を希望している海外セーラー向けのチャーター艇を募集しています。ご自分の艇をご提供いただける方、もしくはチャーター艇の心当たりのある方は、下記までご連絡ください。

japanworld@tasarjapan.org 担当：関口、三輪、平田

○ボランティア募集

ワールド準備委員会（事務局）は、大会期間中の陸上スタッフ・広報スタッフ・通訳スタッフも、テザーセーラーのご家族・ご友人のボランティアに期待しています！！ボランティア参加希望の方は、下記までご連絡ください。

japanworld@tasarjapan.org 担当：関口、亀山

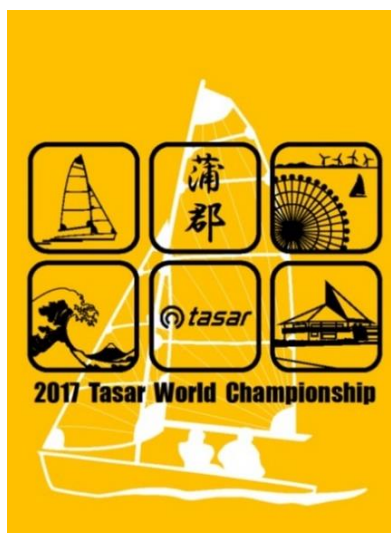
テザー世界選手権蒲郡大会 記念Tシャツデザイン公募 結果報告

この度は、テザー世界選手権蒲郡大会 記念Tシャツデザイン公募（主催：日本テザー協会）にご応募をありがとうございました、2月5日に締め切りました応募作品5点の中から厳正なる選考の結果を報告いたします。

最優秀賞には池田陽平さんの作品（上）が選ばれました。「海外のテザーファンも喜ぶ、日本（蒲郡）の記憶を訴える力作」、「からし色も印象的で、またバリエーション展開が魅力」などが選考のポイントとなりました。

優秀賞には SAYAKO さんの作品（下）が選ばれました。「青い空・海に各国のセールナンバーが目につく」、「夏らしいデザインでイメージが膨らみます」が選考の理由でした。

すでにお馴染みとなっている大会ロゴ「青海波にテザー」とともに、蒲郡ワールドを盛り上げてくれそうです。



ワールド準備委員会からの報告の通り、本大会に向けて着々と準備が進んでいます。しかし、いくつかの課題もみえてきましたので、みなさまにお伝えしたいと思います。

1 つ目は大会の資金面での手当てです。大会予算はエントリー料や 3 年前よりご協力いただいているワールド準備金を充当しますが、これだけではすべてを賄うことができません。残りの分を助成金と企業等による協賛金を充当するとともに、物品などの提供を受けて支出を削減することで対応していく考えです。

助成金としては、日本セーリング連盟により 2017 年度に開催される世界大会の一環としてスポーツ振興基金を申請中であり結果を待っている状況です。レースシーンや地域の魅力の情報発信や地元の方々との交流を行う事業を企画し、日本財団の「海と日本プロジェクト 2017」の助成申請を行い、先日採択が決定しました。

これらの助成事業は、その趣旨から充当できる範囲が限られており、事業者の負担金（スポーツ振興基金の場合は事業費の 1/3）も必要です。このため、地元の企業などに大会への協賛のお願いをさせてもらっています。テザーセーラーの皆様にはお願いですが、お仕事の関係やお知り合いで、大会パンフレットへの広告の掲載や物品等の提供など大会へのご協賛をいただける心当たりがございましたら、ご連絡をお願いします（japanworld@tasarjapan.org まで）。

2 つ目は海陽ヨットハーバーの改修工事についてです。今年 10 月のワールドカップに向けて、愛知県では海陽ヨットハーバーの改修工事を進めています。コンテナヤードの整備、ポンツーンを増設、バースの舗装修繕、艇庫の新設、既設クラブハウスの改装、運営棟・メディア棟の新設と両棟をつなぐ大屋根の設置等が計画され、工事が順次実施されています。複数の工事が並行して進むため、工期が伸びる可能性が高くなっています。このため、テザー大会のときには一部が工事中の状況となる見込みです。昨年 10 月および今年 2 月に愛知県港湾課等と打ち合わせを行い、情報収集を行うとともに当方の要望を伝えているところです。4 月下旬には、テザー大会時にどの程度工事が進んでいるかが判明するとのことなので、この時期に再度打ち合わせを行ったうえで、大会準備に反映させる予定です。大会期間中に、少なからず工事の影響が出ることについてご理解をいただきたいと思います。

3 つ目は海外艇輸送とチャーター艇の確保についてです。海外からのコンテナによる艇輸送費用は相当高額なものとなります。現在、現地でのクレーン作業を同一日に設定することによりコストを下げる 것이できないかなどコンテナ輸送担当メンバーが難しい調整に取り組んでいます。また、海外からのチャーター艇希望に対し、これらを充足するチャーター艇が確保できていません。このため、北米にはコンテナ輸送による自艇参加を働きかけていますが、現在も調整途上という状況です。チャーター艇は、コンテナ輸送が困難な少数参加の国々に対し、参加を可能とする貴重な手段です。ホスト国の責任として、必要数を確保しなければならぬと考えています。チャーター艇の確保に対し、皆様のご協力をお願いします。ご協力をいただけたような艇の情報などありましたらご一報をお願いします（japanworld@tasarjapan.org まで）。

以上 3 点について、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2017 年は蒲郡市を拠点に、8 月のテザー世界選手権、10 月には日本初開催となるセーリングワールドカップと大規模な国際大会が開催されます。この貴重な機会を活用し、セーリング競技を一般の方々に見ていただき、動画などでセーリングや地元の魅力を発信する取組をテザー協会、日本セーリング連盟、蒲郡市、蒲郡市教育委員会の4団体が連携して実施します。本事業は、「日本財団 海と日本プロジェクト 2017」に採択されました。

海と日本プロジェクトは、海の日的前後に次世代を担う子供たちが海の魅力にふれる体験機会を提供することなどを支援するものです。

世界選手権開催時に、テザー協会と蒲郡市、市教育委員会が協力して、以下の取組を実施します。



1. 子供たちの海へのいざない活動

○日程：8月2日予定

○対象：申込のあった蒲郡市等の親子 25 組（50 名）。

- 内容：①ヨットの原理やセーリング競技の基礎知識、レースをみて楽しむためのポイント、海の安全に関する内容等をまとめた「観戦の手引き（仮称）」を作成します。
②セーリング専門家を招聘し、「観戦の手引き」を用いた研修会を行い、セーリングやテザークラスのこと、海の安全のことなどを説明します。
③遊覧船（80 人乗り想定）をチャーターし、レース観戦を行います。
船上ではセーリング専門家による解説を行います。
④海陽ヨットハーバーにおいて、大会会場の見学や選手との交流会を行います。

2. 海と人との関わりを知る体験活動

○日程：8月4日予定

○対象：テザー大会参加の選手、家族及び大会関係者

○内容：レイデーに予定しているエクスカージョンとして、自動車や漁業などの産業関連施設の見学や地元の歴史・文化施設等の見学を行います。

3. セーリングの街・蒲郡と三河湾の魅力発信

○日程：大会期間中を通じて実施

○対象：地元の方々には、テザー・セーリングの魅力発信、
セーリング関係者には、蒲郡・三河湾の魅力発信

- 内容：①動画コンテンツを製作します。具体的には、
・セーラーの視点での三河湾の魅力（海面の広さ、充実した設備、快適な滞在環境、マリンスポーツが盛んなさま）や地域の観光資源などの情報、
・エキサイティングなセーリング競技のレースシーンや選手等のインタビューなどの大会模様を提供します。これらを大会ホームページやセーリング情報専門サイトを
通じて発信します。
②パブリックビューイングとして上記動画を公共施設や大会会場である海陽ヨットハーバーで放映する予定です。

※上記内容は日本財団へ申請した内容をもとに記載しています。今後、事業の実施段階において、蒲郡市等とのご相談の結果により事業内容の変更や見直しを行う場合があります。

2月26日にルール講習会を開催しました。13名の方に参加していただきました。

今回の講習はJSAFルール委員会の主催事業である「選手指導者向けルール講習会」として行いました。講習のプログラムは、通常はルール委員会の方に用意してもらった教材に基づいて講習が行われますが、今回は講師の榛葉さんをお願いしてテザー協会の希望する内容にアレンジしてもらいました。

講習内容は大きく分けると①ルール講習会用の教材に基づいた解説、②ルール改正での主な変更点、③RRS18条などレースでよく直面するルールの解説、そして④模擬審問の4つになります。

内容を振り返ってみると、いくぶん詰め込み過ぎたかな、と反省する面があります。通常は①のルール講習会用のプログラムで1日を費やすぐらいなので、このパートはだいぶ急いで進めました。それから③のレースでよく使うルールの解説などももう少し時間をかけて解説と議論をしたかったかなと思っております。こちらへんは今後、JTA通信や練習会の機会などを使って情報発信していきたいと思います。



榛葉さんの解説に熱心に聞き入ります

ルール改正点については、選手としての観点からするとあまり大きな変更は無いという印象です。航路権に関係する2条関係はマイナーチェンジがほとんどで、レースの戦術には大きな影響はなさそうです。

他に、以前から予告されていた通りインシデントの際のかけ声が「プロテスト」に統一されるようになりました（日本語で「抗議！」は抗議の要件を満たさないようになります）。それからスタート手順に関して、U旗ルールがRRSに記載されました。これによって帆走指示書に書かれていなくても標準的に使われるようになりました。またテザーのレースではあまり影響はないかもしれませんが、定義に「支援者」が加わり、親やコーチなどの振る舞いがルールの対象として制限されることになりました。

大きな変更はないと言ってもレースに出る以上は、最新のルールは知っておく必要があります。ルール知識のアップデートのために、ぜひ一度はルールブックに目を通してもらいたいと思います。

模擬審問は初めての取り組みとなりました。これまでレースで審問を経験したことが無い人にも審問の流れを知ってもらうことをひとつの目的として行いました。

今回は3件の事例を使って行いました。事前に抗議書を用意しておき、参加者が1名ずつ抗議艇、被抗議艇の立場に分かれ、榛葉さんにジャッジ役と進行役を兼ねてもらって実際の審問の手順を解説してもらいながら進みました。抗議艇、被抗議艇それぞれの立場からインシデントの説明とそれに対する質問などを順番にやってみました。

5. INCIDENT
Time and place of incident 1st Mark
Rules alleged to have been broken RRS 18.3 Witnesses JPN 2500

6. INFORMING PROTESTEE How did you inform the protestee of your intention to protest?
By hailing ☒ When? Immediately after the incident Word(s) used Protest
By displaying a red flag ☐ When?
By informing her in some other way ☐ Give details

7. DESCRIPTION OF INCIDENT
Diagram: one square = hull length; show positions of boats, wind and current directions, marks.

In left figure, 3 boats approach the 1st mark.
Numbers beside each boats mean time. Symbol A means the boat protesting, symbol B means the boat protested and symbol C means the witness.

At the time 1, boat A is fetching the 1st mark and boat B is on the port tack.

At the time 2, boat B finishes a tacking.

At the time 3, boat A sails above close hauled to avoid contact with boat B.

Boat B broke RRS 18.3.

2016 年度最後の公式イベント、ミッドウィンターレガッタが、春まだ浅い 3 月 12 日に、江ノ島ヨットハーバーにて開催されました。前日には、本吉夏樹さんによる講習会、練習会そして夜には魚尽くしの懇親会が開かれ、盛りだくさんの週末を楽しむことができました。ワールドに向けて、新たにテザーコミュニティに加わったチーム、大阪、琵琶湖、浜名湖からの遠征組も含め、24 艇もの参加で大盛況となりました。

特集では、強化担当理事の村岸さんからの、講習会と練習会のポイントをまとめたレポート、バルクヘッドマガジン掲載のレガッタレポート、そしてピッカピカの新艇でテザー活動始動の高橋夏樹さんからのレポートをお届けします。

3/11(土)ミッドウィンター前日の講習会メモ

強化担当理事

村岸 恭明

1. スケジュール： 日時：3 月 11 日（土）10:00～17:20
10:00～11:30 座学 ＊クラブハウス 1 階 B 会議室
11:30～12:00 出艇準備
12:00～16:00 海上練習(帆走、マークラウンディング、コース練習)
16:40～17:20 練習後の振り返り(ビデオによる確認) ＊クラブハウス 1 階 B 会議室

2. 場所：江ノ島ヨットハーバー(会議室)
江ノ島沖(A 海面を使用)



＜江ノ島ヨットハーバー内クラブハウス＞

4. 講習会テーマ、資料：
「強風時のボートセッティング」と題して実施。
強風時のチューニング、マスト/セールセッティング、走らせ方を中心に実施。
資料「強風時のボートセッティング(全 22 ページ)」(別添をご参照ください)

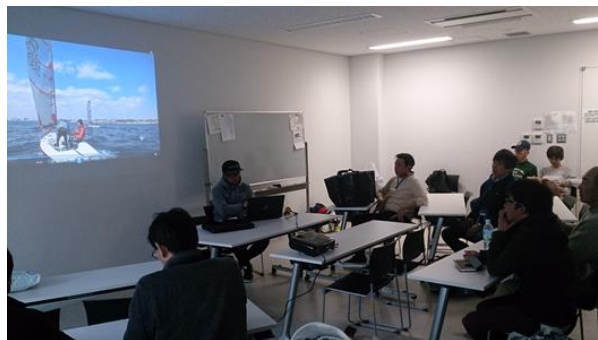
5. 講師：本吉夏樹さん ＊サポート：伊藤一石さん

6. 海上コンディション：風速：3～6m/s 、風向：80～110°のち 140～160°

7. 座学メモ：

(1)マストバンド

- ・強風時に、メインセールがブレイク(裏風が入っている状態、シバーしている状態)している状態で走っている艇が多い。ボートセッティングで適切なパワーにして、ブレイクしない状態で走る必要がある。
- ・日本のテザーセーラーは、ハンドリングに頼る傾向があると思うが、ボートセッティングを理解すればさらに早くなる。クローズで上ること風を逃がす走り方があるが、テザーの場合、風を当て、スピードを出す走らせ方が速いと思う。
- ・テザーの場合、470 等の艇種と比較してマスト柔らかい。特にトップマストが柔らかい。セッティングに大きく影響する。



＜海上練習後の振り返り＞

(2)メインセールのドラフトポジションとリターン

- ・リターンとはセールのリーチセクションのフックのこと。リターンが大きければセールが閉じた状態、小さければセールが開いた状態といえる。
- ・テザーはフルバテンでありリターンしやすい。特にドラフトバック(セールのドラフト(深い部分が後方に移動すること))した際にリーチのリターンが非常に大きくなってしまう。
- ・そのため、カニンガムを強く引くことで、ドラフト位置を調整する必要がある。470等の艇種ではバングを引くことで調整するケースがあるが、テザーの場合、マストが柔らかく、バングを引くことによるマストを前に押し出す力でバンドを作りすぎる。悪い影響を出してしまう(オーバーバンド)。メインセールが平らになりすぎ、パワーを失いやすい。
- ・リターンが小さい場合、ウェザーヘルムが小さくなり強風時走りやすいが、風が落ちた場合にすぐに戻さないとパワーを失い続ける、ヘルムがスカスカになるなど、ボートスピードを出しづらくなる。適切な調整が必要。

(3)マストサギング

- ・ダイヤモンドステイが特徴的。ロアマストのバンドに影響を与える。ダイヤモンドステイを張ることで、ロアマストの腹の部分のバンド量を調整する。クローズにおいては、ローテーションレバーでマストを回すため、いわゆるサイドバンドを調整することではない。少し斜め方向へのバンドになる。
- ・27××番代以前の艇は、ジブカム取付金具の左右位置がずれている場合があり、測定が必要。マストステップからの距離を測定し、左右距離を合わせて使う必要あり。

(4)バテンテンション

- ・トップマストが柔らかく曲がりやすく、メインセールのトップ部分のセールが浅くなりツイストすることから、上半分のバテンを強くセットし、セールシェイプを保った方が良い。リターンの量に影響することから、パワーがほしいケースは良いが、強風時は注意が必要。

(5)メインセールシーティング

- ・ほぼすべての風域でトラベラーを推奨する。マストが柔らかいため、バングシーティング(バングを使ってパワーダウンしながらトリムすること)を行った場合に、マストが曲がりすぎ、セールシェイプに悪い影響がでる。
- ・バングを引くことによって、フォアテンションが弱くなり、サギングが増えるなどの理由もある。

(6)ジブセール

- ・強風時にサギングが大きくなると、ドラフトが後方に移動し、リーチリターンが大きくなる。そのため、スロットルが狭くなり、メインセールにバックウィンドが入る。そのため、強風時はさらにフォアテンションが必要となる。中風以下の場合と強風時で2種類のチューニングを持つことを推奨する(強風時にはより高いフォアテンションでセット)。
- ・ジブハリヤードはメインのカニンガムと同様に考える。ドラフトポジションの調整に使う。強風時には、フォアテンションを高める助けにもなる。
- ・ジブのシーティングアングルを、トップセクションをツイストさせることで変えることができる。よりツイストさせることで、パワーダウンを図っていく。クリューボードを下げることで、リーダーを外に出すことでよりツイストさせることができる。また、ジブのタックを上げることで、クリューボードを上げることと同じ効果をだすことができる。ジブのタックに(*1)タックハイト(シートで高さを調整できるようにした調整具)を取り付け、ジブを上げたり下げたりする。オーストラリアのダグラスチームも取り付けている(クラスルールとしても問題なし)。

(*1)タックハイト

タックハイトは右の写真を参考にしてください。スプライスされた輪の中にコブを通して使います。スプライスされているので、コブを通すだけです。外れることはありません。輪に通すコブの位置を変えることで、ジブの高さを変更します。コブの位置を変えるだけなので、レース中でも変更可能。



(7)センターボード

- ・セールを適正に保っても、セールがブレイクする場合に、センターが下がりすぎているケースがある。風速が上がるにつれて徐々に上げていく必要がある。レース中の風の変化で頻繁に変更する必要がある。
- ・センターボードは上げてデッキの高さまでが良いと考える。

(8)質疑応答

- ・フォアステイの長さはどれくらいが適切か？
→4120～4160 mmのルールの範囲の中で、より伸ばしている艇が多い。しかし、4140 mm等マストが立った方が、パワーが増し、セールが安定するという考え方もある。いろいろな風域で試してください。
- ・乗艇位置に関しての注意事項はあるか？
→テザーはバウがとがっており、センターと同様にバウを水面にしっかりさして、水平長をフルに活かした方が良い。基本的に前に乗るべきである。
- ・本日はクローズのボートセッティングの話が中心であったが、フリーの走らせ方でアドバイスないか？
→リーチングにおいて、メインセールの出し入れでヒールバランスを取っている艇をよく見かけるがよくない。艇のバランスを崩す。リーチングは99%ハンドリング。ラフ、ベアで艇のヒールバランスを取るべき。艇に入るアパレントウィンドを変化させない(一定に)ように走らせると良いと考える。アパレントウィンドを変化させない練習が必要。
- ・ジブリーダーは強風時にどれくらい出すことが適切か？
→出しても外側に3ポイント程度まで出すのが良いと考える。
- ・講師のスキフボートなどでの経験から、テザーのフリーの走らせ方に対してのアドバイスはあるか？
→テザーはウィスカーポールが短い。上ると、すぐにジブセールが袋のようになってしまい、スピードに変えることができない。上らせて走る走らせ方は向いていないと考える。角度のゆるいリーチングでもなるべくウィスカーを張らない方が良い(ジブが袋になる状態で走らない方が良い)。
- ・フリーにおけるローテーションレバーの使い方は？
→諸説あるが、正しい答えは持っていない。ランニングでオーバーローテーションにした場合に、リーチのフックが増える。中風以下では使わない方が良い。

8. 講習会の海上練習時のビデオ

- ・海上練習時のビデオ映像は、別途ホームページにアップします。良く取れているのでご参考ください。

最後に：

- ・本メモは講師の説明を反映したのですが、完璧に記載できていない部分があるかもしれません。その点、ご了承ください。

以上

今年も絶好調！テザー・ミッドウインターレガッタ&セーリング講習会

3月11日、12日、江の島ヨットハーバーでテザー級のイベントが開催されました。11日は、今年7月30日から8月6日に蒲郡で開催される世界選手権に向けた取り組みとして、日本テザー協会主催のセーリング講習会が実施されました。講師にはプロセラーでもあり、テザー歴も長い本吉夏樹さんを迎え、32名が参加しました。（レポート・写真提供／日本テザー協会）



春の陽気のなかでおこなわれたテザーレガッタ。
前日には講習会もおこなわれました

講習会の内容は、「強風時の帆走スピードを上げるためのボートセッティングについて」と題して、午前中1.5時間の座学と午後4時間の海上練習を実施しました。着艇後は海上のビデオを使って練習を振り返り、終了後は懇親会もあり、参加選手はワールドに向けて盛りだくさんの1日を過ごしました。

12日は「ミッドウインターレガッタ」が開催されました。ワールドイヤーの影響か、例年より参加艇が多く、ベテランからニューカマーまで24艇（エントリーは25艇）が、芦屋・大阪北港・琵琶湖・浜名湖・葉山・稲毛・江の島から集まりました。

第1レースは、強めの東風から最後は軽風。第2レースは微風、第3・第4レースは南にまわった中風と、レガッタを通して風向・風速ともにオールラウンドなコンディションを楽しみました。1レースの所要時間は約40分程度でしたが、その中でひんぱんに順位が入れ替わる展開で、多くの参加選手がレースを存分に楽しみました。

あらゆる風域で圧倒的に速かったのが、佐藤／村岸組（江の島）。スタートで、多少出遅れてもマークを回ると同時に順位を上げていき、3レースをオールトップで最終レースを迎えます。

第4レースではゼネリコの後にはU旗が揚げられ、ここで佐藤／村岸艇がリコール（UFD）。佐藤／村岸組が脱落したことで、入賞は接戦となった3艇で分け合う形となり、優勝は田中／田中組（稲毛）、2位が軽部／軽部組（稲毛）、3位が大橋／中澤組（江の島）となりました。

年齢別クラスの優勝チームは、スーパーグランドマスタークラスが小澤／秋山組（琵琶湖）、グランドマスタークラスが田中／田中組、マスタークラスが軽部／軽部組という結果となりました。

次回の公式レガッタは、4月29～30日に葉山で開催するテザースプリングレガッタです。

日本テザー協会では、テザー級世界選手権（2017年7月30日～8月6日、海陽ヨットハーバー）を目指してテザーを始めようという方、一時セーリングから離れていたがテザーに戻ってこようという方の参加をサポートする、“ウェルカム・キャンペーン”を行っています。テザーに関心のある方は（publicity※tasarjapan.org。※を@に代えて）までご連絡ください。



前日に開催されたセーリング講習会。テーマは「強風セーリングとポートセッティング」です。

今年は日本開催ワールドイヤーズです。みんな、がんばろう！

<2017年3月15日バレルヘッドマガジン掲載>

+++++

2016年度 ミッドウィンターレガッタ成績表

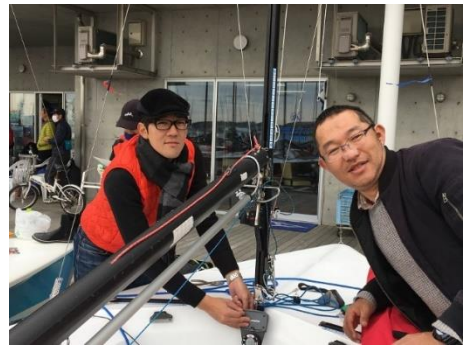
2017年3月12日

江ノ島ヨットハーバー

Pos	Sail No.	フリート/水域		スキッパー	クルー1	クルー2	1R		2R		3R		4R		カット	Total
							着順	得点	着順	得点	着順	得点	着順	得点		
1	2765	稲毛	GM	田中 郁也	田中 紀子		2	2	2	2	5	5	2	2	0	11
2	2881	稲毛	M	軽部 香	軽部 竜也		5	5	3	3	2	2	3	3	0	13
3	2732	江ノ島		大橋 太一	中澤 大三郎		4	4	10	10	3	3	1	1	0	18
4	2662	琵琶湖	SGM	小澤 拓身	秋山 紀夫		6	6	4	4	6	6	8	8	0	24
5	2862	江ノ島	M	佐藤 浩章	村岸 恭明		1	1	1	1	1	1	UFD	26	0	29
6	2821	江ノ島	SGM	戸室 宣房	仲俣 敦司		7	7	12	12	4	4	7	7	0	30
7	2749	稲毛	M	野口 優	杉田 智宏		10	10	6	6	14	14	6	6	0	36
8	2719	大阪北港	GM	石川 光輝	池田 俊則		11	11	17	17	7	7	5	5	0	40
9	2707	浜名湖	GM	石塚 恒志	国武 一樹		9	9	15	15	11	11	15	15	0	50
10	2748	葉山		米本 隆	宮田 光		21	21	11	11	9	9	12	12	0	53
11	2893	未所属	GM	松崎 浩一	滝口 裕樹		13	13	7	7	8	8	UFD	26	0	54
12	2709	葉山		宮下 知之	宮下 颯		17	17	8	8	UFD	26	4	4	0	55
13	2671	葉山	M	阪井 祐介	宮下 健		18	18	5	5	UFD	26	9	9	0	58
14	2621	江ノ島	GM	吉田 浩司	小松 利英		12	12	14	14	UFD	26	10	10	0	62
15	2395	未所属	M	本吉 譲治	三苫 稔尚		3	3	9	9	UFD	26	UFD	26	0	64
16	2958	葉山		長嶋 諒	高橋 夏樹		14	14	13	13	UFD	26	14	14	0	67
17	2741	江ノ島		伊藤 一石	森島 裕太		8	8	23	23	UFD	26	11	11	0	68
18	2745	江ノ島		関口 真秀	上松 慮生		16	16	16	16	10	10	DNC	26	0	68
19	2676	芦屋	GM	荒川 徹	松浦 裕子		15	15	19	19	15	15	19	19	0	68
20	2738	江ノ島	M	武田 純	武田 朋美		20	20	22	22	12	12	16	16	0	70
21	2806	江ノ島	M	和波 拓郎	和波 真帆		19	19	21	21	16	16	17	17	0	73
22	2470	浜名湖	M	北村 好江	北村 道則		22	22	24	24	13	13	18	18	0	77
23	2469	江ノ島	M	塩 信之	堀 昌太		23	23	20	20	17	17	20	20	0	80
24	2657	浜名湖		長谷川 勝啓	長谷川 大智	長谷川 帆風	DSQ	26	18	18	UFD	26	13	13	0	83
25	2593	稲毛	M	亀山 寛達	井上 敦		DNC	26	DNC	26	DNC	26	DNC	26	0	104

J P N 2 9 5 8 長嶋/高橋組の高橋夏樹と申します。
セーリング歴はそこそこ長いのですが、今回のミッドウィンターに出場して、他の艇種では味わえない色々な衝撃を受け、とてもエキサイティングに感じました。

艇をカーキャリアで移動するのも初めての経験でした。テザーのスプリングレガッタの表彰式を拝見したことがありますが、終了後 30 分くらいで皆、帰ってゆくので、それくらいの時間でできるだろうとタカをくくっていたのですが、実際に初めて車に乗せ、艇を固定するのに 3 時間ほどかかってしまいました。



また、経験者による講習会も新鮮でした。過去に 470 の講習会に参加したことがありますが、それよりも数段実践的で、海上練習でもアドバイスをいただき、テザー初心者の私達には特に有意義な時間を感じました。

皆のスタート技術が高く、また、艇数が多かったこともあり、一線目でのスタートが切れませんでした。今後の課題にしたいと思います。

全体的に、まだテザー初心者で、乗りこなせていません。目標とする世界選手権まで、残り数か月しかないので、充実した練習を多く行い、充実した状態で、その時期を迎えたいと思っています。今後とも皆様の温かい目で見守っていただければ幸いです。

末筆になりますが、今回の艇購入等において、日本テザー協会、パフォーマンスセールクラフトジャパン、デラマンチャヨットクラブ、およびソニーヨット部の方々、また、納艇直前まで決まらなかったバースを世話していただいた山下栄輝さんには大変お世話になりました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

==*

2017 年度の JSAF 会員登録のお知らせ（新規ならびに、継続の方は更新手続き）

日本テザー協会への会員登録とともに、公式イベントの中にも JSAF 会員登録が必要なレースも含まれます。下記アドレス参照の上登録手続きをお願いします。

<http://www.jsaf.or.jp/hp/membership/account>

また、2017 年度から会員証の発行が廃止となります。電子会員証の PDF 化により、必要に応じて

ダウンロードして対応することになります。

会員システムの操作方法は以下のマニュアルをご参照願います。

http://www.jsaf.or.jp/soumu/2015/manual_member_1_1.pdf

不明点は問い合わせ頂きますようお願い致します。

テザー協会 事務局
植田 泰平

芦屋フリートは兵庫県立海洋体育館（芦屋マリンセンター）をベースに活動しています。

フリートレースや練習会をはじめ、西日本選手権の開催、各種レースへの参加などを通じて技術の向上を目指しています。また、アフターセーリングの集まりや、忘年会等を通じて親睦を深め、セーリング談義にも花を咲かせています。

芦屋フリートでは、ともにセーリングできる仲間を常に募集しています。
興味のある方はぜひご連絡下さい。
保有艇数 は15 艇です。

フリートキャプテン 植田泰平

芦屋フリート活動の要、
お色直しした安澤さんの「ココキャット」▶



大阪北港でテーザーのフリートキャプテンをしております三輪です。こんにちは。

こちらはディンギーが盛んで、テーザー以外にも470・スナイプ・シカール・レーザー・シーホッパー・トッパーなどそれぞれの好みでセーリングしています。
そして月1回のクラブレースでは、これらディンギーが一斉スタートするレースをしています。
多いと50艇を超えます。

さて、H29年度の北港テーザー活動方針ですが、「テーザーを楽しむ！そして1こ前を走る！！」です。昨夜、私が勝手に決めました。「わきあいあいとしながらも、1こ前を走れるようにセーリングスキルを磨く努力を惜しまない。」という主旨です。

北港にはテーザーが7艇あります（香川県の1艇を含む）。私としては、全艇が7月の蒲郡ワールドに出られるよう後方支援しているところです。
また、ワールド後もテーザーがそのまま活気づいていければなあと思っています。

今シーズンもよろしくお願いします。

フリートキャプテン 三輪 記裕

みなさん、こんにちは。**稲毛**フリートの山村です。

稲毛フリートは、世界一のフリートを目指して日々活動しています。

何が世界一かは……、長くなりそうなのでここでは省略します。

今年も例年通り、定期的にフリートレース（IST）を開催します。外部からの参加も大歓迎ですので、ぜひご参加ください。船を運ぶのが大変な方や、ペアがいない方も事前に連絡をもらえると調整可能ですので、ぜひご連絡ください。 連絡先（山村）：inage@tasarjapan.org

IST 日程： 4/1（土）、4/23（日）、5/21（日）、6/17（土）、7/23（日）、
8/20（日）、9/23（土）、10/15（日）、11/19（日）、12/2（土）

今年は、ワールド目指して IST 以外の日程でもフリート内での練習会を開催予定です。

また、ちょっと先ですが、今年度はミッドウィンターレガッタを担当します。カレーを煮込んでお待ちしていますので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。

フリートキャプテン 山村 太郎

浜名湖は、今切口と呼ばれる開口部が太平洋と接していて潮の満ち引きがあり、湖と言っても海水です。北半分がボート、ヨットの遊走出来る区域です。

その湖岸にヨットハーバーが点在していて、テザーは4ヶ所に分散して計7艇保有されています。テザー浜名湖フリートを一言で言うと、残念ながら「まとまりが無いフリート」です。練習は、各々が都合のいい日時にフリーで行います。海上で見かけたら合流してセーリング。また、浜名湖で行われる地元のレースに参加するといった具合で、各セーラーが自由奔放に楽しんでいます。

そんなゆる〜い活動をして来た浜名湖フリートですが、蒲郡ワールドに参加しようとの機運が高まっています。親子セーラーでお馴染みの長谷川艇をはじめ、昨年全日本に初参戦で初優勝を成し遂げた高橋・杉浦艇のエリートセーラー他、4艇が参加を目指しているようです。

蒲郡ワールドを機に、浜名湖フリートがまとまったと思いますが、自由気ままもいいですよ。こんな浜名湖フリートですが、今後も宜しくお願いします。

浜名湖雑草セーラー 石塚 恒志

江ノ島フリートでは、ワールドイヤーである2017年に入って大忙しです。

3月12日にはミッドウィンターを実施、5月28日にはアーリーサマーレガッタを実施します。それぞれ前日には講習会を実施し、ワールドに向けた選手のセーリング技術向上に少しでも力になればと思います。

ミッドウィンターでは、江ノ島から10艇の出場です。学生時代のヨット経験なく始めた、和波夫妻チーム、塩/堀組などは毎週江ノ島で練習をされており、今後が楽しみです。江ノ島フリートでは、テザーを楽しむことから、レースを楽しむこと、レースで勝つことまで幅広く活動し、テザークラスを盛り上げていきたいと思っています。

フリートキャプテン 村岸 恭明

河津桜も終わり葉山にも春が訪れつつあります。我々**葉山**フリートもスプリングレガッタに向け準備開始です。

今年のスプリングは4月29-30日、GWの初頭です。ワールドシーズンの開幕戦であり、例年以上の参加が見込まれます。できるだけ気軽に参加できるレガッタを目指しますので是非ご参加ください。

また、フリートレースを以下の日程で予定しています。他フリートからの参加も歓迎です。

4月16日、6月25日、9月10日

今年のワールドは葉山からも10杯近い参加がありそうです。新艇を購入して臨む新メンバーもいます。他クラスの方でテザーに興味ある方はいればお気軽にご連絡ください。個人購入だけではなくクラブ主体のフリートですので、気軽にテザーデビューができます。



新艇 JPN2958 の進水式@葉山

青い空と海、富士山のもとでセーリングを楽しみましょう。 フリートキャプテン 山下 栄輝

琵琶湖では「テザーフリート」としての活動はしていませんが、大津の柳が崎県営ヨットハーバーに4艇のテザーが有ります。名門「琵琶湖ヨットクラブ」BYCに2262と2263の2艇。「湖翔ヨットクラブ」KS YCに2219が、更に昨年は2723（私）が加わり隣同士のクラブ艇庫に集まりました。

テザーのフリートとしての活動はありませんが、大津市制100周年記念として毎年続けられている京都新聞社主催レース、BYCと各クラブ協賛のディンギーレガッタに参加。BYCのクラブレースはレーザ主体ですが、オープン・フレンドリーで、テザーもトッパーも入れてもらっています。また、年一度の3クラブ対抗戦レガッタ（BYC-KYC-KSYC）も開催されています。

フリート活動はしていないとはいえ、昨年の蒲郡でのプレワールドを機に、西日本選手権、全日本にも出場し、徐々に活気が出て来ました。今年に入り古い艇はリグの整備と塗替えを、腕の立つものは練習に熱が入って来ました。

JTAの皆さまのワールドでのご活躍を祈ります。びわマスこと長野記す。 長野 国比古さん

琵琶湖からはお便りも届きました

【テザーでもっと早く帆走りたい！】

2219 木下 清さん

琵琶湖でのテザーはフリートとして未だ活動をするに至っていないようです。しかし国内でワールドが開催されるのを良い機会にこのファミリーなセーリングボートがもっと普及してくれることを願っています。

我々のクラブがある柳が崎水域では、お隣の琵琶湖ヨットクラブと私の所属するクラブの計4艇が時折オープンレースに参加する程度です。各チームの実力差は大きく、全日本で優勝を競う秋山選手のチームあり、テールエンドを競うチームありで我がチームはスキルアップを急がなければならない状態です。

私は1960年代に西宮の海でセーリングを教えてもらい、現在は琵琶湖でセーリングしています。最初はスナイプで練習を始め、ついで470から自作したファイアーボールと移り湘南の海にも遊び行き、そして現在は琵琶湖でシーホースを楽しんでいます。

テザーとの出会いは我々のクラブにテザーオーナーの北村さんが加入したことによります。テザーの印象は大変軽くてローテーションマストとマイラーセール、シンプルな艀装の採用による快速艇というものです。しかし一方ではスピンのないことによるフリー帆走での緊張感の無さは少し残念に感

じるところではあります。実際に帆走してみると軽くて敏感なため失速することが多く、セールトリムを忠実に行うことの大切さ、艇のヘルムをコントロールすることの大切さなど基本動作の大切さを改めて思い知らされました。

昨年7月に西宮で開催された西日本選手権にいきなり参加し、10月には無謀にも和歌山で開催された全日本選手権に参加しました。目標はSGMで上位をねらったレース参加でしたが結果は見るも無残、改めてセーリングの基本をやり直さねばならないと痛感させられた次第です。

今年の蒲郡ワールドに参加するべく艇の整備に勤しむ北村オーナーの姿を間近に見てその熱意を感じつつ、琵琶湖の水が温むのを待って気持ちと体をセーリングに向かわせる準備をしているところです。さて老骨が動いてくれるか甚だ不安に思っているところですが……。セーリング大好き人間としてはワールドを機会にセーリング仲間の増えることをひたすら願うところです。



【2219 の再生の記】

2219 北村 重雄さん

2219 北村 重雄さん

5年ほど乗らずに屋外放置をしていた2219号艇、2015年に縁あって湖翔ヨットクラブに移籍して、屋内保管ができるようになりました。

ヘルムをお願いしている往年のファイアーボール日本チャンピオン木下清氏の「汚い」の一言で、まずは塗替えに着手することになりました。塗装のため外せるデッキパーツを外した機会に"Fanfare for the Common man"を参考に艀装関係のリフレッシュも図りました。

ゲルコートの表面劣化をサンディングで除去しデッキを白、ハルをオレンジ、コクピット側面・スウォートをライトグレー、コクピット床面をライトブルーに塗り替えました。メインシートとブロックをオートマチックラチェットに換え、スィブルベースもハーケンの旧仕様から現行仕様に交換、コントロールラインも入れ替え、ハイキングストラップも新品に交換してパツと見“新艇”になりました。

当初は海で走る予定はなかったのですが、シーホースでご隠居中だった木下氏からテザーの軽い走りで見せろと火がついたのか 2016 年に「西日本選手権に出てみようか？」の声掛け、ダクロンセールで出場しました。7 月の西日本選手権では最下位争いだったので、10 月の全日本に向けてマイラーセールを新調しました。このときにトップマストのハウンド取り付けボルト穴から前の部分にクラック

が見つかり素管を交換しました。以前からプリベンドさせたようにマストトップが後傾していた原因が分かりスッキリです。気付かずに強風を走ってマストトップが折れたらセールが損傷していたかもしれません。

セール新調で望んだ全日本ですが、結果はやはり最下位争いでした。乗り手の問題はさておき、ハルの再塗装面をコンパウンドで磨いて新艇もびっくりのツルツルになりました。ハンドホール取付面とガンネル接合部からリークがあり沈をするとジャジャ漏れだったことが分かったので、角が割れていたハンドホールを新品に交換し、ガンネル接合部は樹脂を注入して目止めを行いました。



パッと見“新艇”の2219、後は乗り手の腕次第、ワールドへ向けて練習中です。

=====

JTA の会員登録更新のご案内メールが届いていませんか？ 2017 年度の更新をお忘れなく！
新規登録の方は <http://tasarijapan.org/index.php/jta/membership> をご参照ください。



△蒲郡駅近くで発見したポスト。のっかっているのは、蒲郡の特産品であるみかんです。その名も蒲郡みかんポスト。そういえば、和歌山も三ヶ日（浜名湖）もみかんの産地でした。ご縁を感じますね。△江ノ島で行われたミッドウィンターを皮切りに、4月にはスプリングレガッタ、5月にはアーリーサマーレガッタ、7月には西日本。各フリートでも、フリートレースや練習会が企画されています。これから4か月、週末はデーザー、っていう方が多くなりそうですね。食事と体調に十分気を付けて大会準備・練習に臨みましょう。△蒲郡、これからはあさりも美味しい季節です。名物蒲郡うどんも食べないと。「東三河と言えばモーニング」、朝からカフェにも行きたいし、あそこの回転寿司にも行きたいし、夏にはメロン狩り～♡きゃあ♡（のり）

大阪北港フリートの稲森久彦さんが、2016年12月に逝去されました。1988年にテザーオーナーとなり、大阪北港フリートを創設され、その後長く関西水域でのフリートおよびレース活動を支えてくださいました。テザーを始められた頃は、当時大学生だったお嬢さんと一緒にレースに出られて、親子でテザーを楽しむこともあったそうです。94年の全日本選手権では池田俊則さんと組み、全日本チャンピオンに輝き、96年にはアメリカでの世界選手権（Gorge）にも参加されました。積極的にレースに参加される一方で、大阪北港でのセーリング普及にもご尽力され、北港ディンギークラブの会長も務められていました。多くの人に慕われた、すてきな笑顔が忘れられません。ご冥福お祈りいたします。

稲森さんと初めてお会いしたのは1999年の夏でした。

その年、私は転勤で大阪に住みはじめていました。週末にドライブで海岸を走っていたところヨットハーバーの看板が目に入り、そのまま吸い込まれるようにハーバーに立ち寄ったのです。

バースに学生時代に乘っていたスナイプがあったので、懐かしいなーと思いながら歩いていると、稲森さんと河さんから声をかけられました。

「どう？乗ってみる？テザーなら速くておもしろいよ。」とのお誘いでした。またいつかディンギーに乗ってみたい、と思っていたので、渡りにテザーとはこのことでした。

話はとんとん拍子で進み、気が付けば翌週にはテザーに乗っていました。

稲森さんも河さんもとても親切で、私がセーリングできるよういろいろ手配してくださいました。多少なりとも経験のある私への特別対応かなと思いましたが、そうではなく誰に対しても、いや初心者に対しては特に温かく受け入れてくださっていました。

それだけに稲森さんに対するクラブ員の信頼は厚く、稲森さんの人柄に引き寄せられてクラブ員は増え続けていきました。

そして、写真は私が初めてテザーの公式レースにでたとき(1999 浜名湖ワールド)の1コマです。自然と稲森さんのまわりに人が集まり、わきあいあいの雰囲気がつくりだされるのです。

北港ディンギークラブの会長職は正円さんに引き継がれました。今では500人ほど会員登録しているそうです。私もテザー乗りとしてクラブの発展に寄与したいと思います。それが稲森さんから受けた大きな御恩への恩返しになると信じています。

稲森さんを偲んで・・・合掌。

三輪 記裕



99年、浜名湖大会の後のひとコマ。後ろ中央が稲森さん。左奥が三輪さん。オランダのUdo氏のお顔も。稲森さんのまわりにはいつも人が集まり、和気あいあいでした。

稲森さんとの思い出です。

稲森さんから、「テーザーのスキッパーとして、一緒に組まないか」と誘われたのは今から約25年前でした。一度試乗させていただき、ハンドリングのフィーリングが、シングルハンドのそれと変わらなかったのが、OKしたのを覚えています。

稲森さんは、酒好きで社交的、人望篤く人気者でした。

池田は、アルコールは売っても飲まない（飲めない）。一人で黙々と練習し決してレースで悪くてもめげない（才能なしと自覚）、練習すれば何とかなる派。付き合いは悪い…当時は不愛想でした。こんな対照的(?)な僕と稲森さんが、一緒にテーザーに乗り始めました。

2202 艇（ヤナセから購入した艇です）には、重い縄はしが搭載されていました。

理由を聞くと、

「落水したら舟に上がれない。今まで女子大生の娘さんと乗っていたのではしが無いと二人とも遭難するから」

…すぐに撤去しました。

2202 艇のトラベラーは、固定し動かせない状態でした。

理由を聞くと、「使いづらいから」。

…すぐに可動出来るようにしました。

こういう乗り方のテーザーが北港には3艇あり、関西のオープンレース等で活躍(?)していました。当時、関西のオープンレースでテーザーは成績が悪く、レーティングもどんどん落ちていく状況でした。レーザーと同じか、もう少し良い位。前述の先輩達の実績のお陰です。

という事で、稲森さんと組んで新生 2202 で参加した関西のオープンレースでは、ことごとく勝ちました。3位より悪い成績は記憶にありません。賞金稼ぎで大いに楽しみました。ホテルの宿泊券とアルコールは稲森さん、それ以外は池田が頂くと決めていました。

阪神大震災の前年に、奇跡的に西日本優勝と全日本に優勝しました。

西日本の持ち回りトロフィーには傷があると思います。

震災の朝、ピアノの上から落下したのです。犯人は地震です。

奇跡は2度と起こらず、徐々に楽しむセーリングに変貌し、ゴージでのワールド（1996年開催）でも大いに楽しみました。99年の浜名湖ワールドを最後に、コンビは卒業しました。

今となっては古き良き思い出です。

稲森さん、天国からビール片手にテーザーのレースを観戦しているでしょう。

「日本人世界チャンプはまだか!!」、言いながら。

池田 俊彦



94年全日本選手権（江ノ島）にて、総合優勝の稲森・池田組。左後ろは吉川さん。

